

## <スクールアルバム>

社会科見学（中高：鎌倉見学、高H：東京で江戸時代のキリシタンの殉教に関するスポット巡り）



本郷台駅前クリスマスマーケットにも参加



クリスマス会では、各学部での出し物（朗読劇、ハンドベル演奏、バンド演奏など）や、プレゼント交換で楽しみました♡



### お願い・ご報告

- 明けましておめでとうございます。今年も主によって皆さまの健康が守られ、支えられ、各ご家庭の上に主の祝福が豊かに注がれますようにお祈りいたします。どうぞ、よろしく願いいたします。
- 12月のスクールの活動、行事等は、祝福の中で行われました。お祈り、ご協力を感謝します。
- 2月7日（金）、当スクールを会場として実施される日本漢字能力検定に向けて、準備をしています。検定は、午後実施しますが、詳細につきましては、後日お知らせします。なお、受検者の下校は15時15分、未受検者の下校は13時35分です。
- 年度末にあたり、2月26日（水）～、授業は、4限までとなります。昼食ありで、下校は14時（水曜日は、13時40分）です。年度当初にお渡ししております、「2024年度年間行事予定」にてご確認をお願いします。
- 新年度に向けて準備が始まっていきます。新入生が多くあるように、また、スタッフの体制や学習の環境が整えられ、カリキュラム等の準備も整えられるようお祈りください。
- 学校法人取得に向けて、スクール関係者の皆さまのお祈りをよろしく願いいたします。法人を取得するためには、多くの問題・課題がありますが、神さまが一つひとつ解決して下さること信じて、取り組みたいと思います。ご協力をお願いします。

### 今月のみことば（暗唱聖句）

「あなたには、すべてのことができること、どのような計画も不可能ではないことを、私は知りました。」ヨブ記42:2

“I know that You can do everything, And that no purpose of Yours can be withheld from You. Job42:2” 英語でも覚えましょう。

### 祈禱課題

1. 2025年を迎えてすべてのスクール関係者の上に聖霊の祝福が豊かにありますように。
2. 生徒達が喜んで学びができるように。お互いの存在を尊重し合い協力していく楽しさを味わうことができるように。
3. 高校生、HOPE生の卒業後の進路が開かれるように。
4. 学校法人化への取り組みに際して主に信頼し、一つとなって祈り、行動に移していくことができるように。グラウンドに新校舎が建つよう、あらゆる条件がクリアできるように。関係者すべてが献げる喜びを体験できるように。主の栄光が現されていくように。



# のあインターナショナルスクール スクール通信 1月号

2025.Jan.1

VO1.209

〒247-0024 横浜市栄区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

## 「20周年感謝会の恵み」

中高HOPE 副担任 岩村美奈子

明けましておめでとうございます。

昨年の大きな恵みといえば、すでに1か月余が経ちましたが（それ以上にずいぶん前だったような気がします）、11月の最終日にスクール20周年の記念感謝会をもち、スクールに注がれてきた20年の恵みを振り返り、今、主によって集められている皆さんと一緒に祝いすることができたことが本当に喜びでした。そしてこのタイミングで皆さんに主からのビジョンが示され、学校法人化の話が進んでいることを確認したことも大きな恵みでした。主が、次に何をなされるのか、ワクワクします。

また、感謝会に合わせて、ヤダICSから25名もの生徒さんたち、先生方が来日して一緒に祝ってくださり、のあISのために、また日本のために熱く祈ってくださったり、観光のときにも伝道するという心づもりで来てくださっていたことを知ったりと、交流を通して主からの激励も受けました。主のご計画が大きすぎて時に気後れする私への、目に見える励ましをいただいたこと、感謝です。

**見よ。なんとという幸せ なんとという楽しさだろう。**

**兄弟たちが一つになって とともに生きることは。（詩篇133：1）**

今回は、感謝会に合わせて同窓会ももちました。そこで会うことができた卒業生の皆さんの集まりも、もちろん麗しく嬉しかったのですが、今回私がじっくりと恵みを噛みしめたのは、感謝会の少し前に招かれた卒業生Sくんの結婚式で、また、先だって何人かの卒業生に連絡するうちに、今は何らかの理由で教会から離れていたり、スクールから連絡をとってもなかなか返事がないと聞いてどうしているかと心配しながら祈りに覚えている卒業生も、学年を越えて卒業生同士の交わりがあり、お互いに連絡をとって励まし合ったり、たまには会って愚痴をこぼしたり(?)する人たちが多くいる、生徒大会で友達になった他のチャーチスクールの卒業生ともそんな関係ができていると知ったことでした。主に呼び集められた群れの中で活躍することは大きな祝福ですが、今何らかの理由で主を信頼できなくなっていたり教会から離れていたりしても、主の広い交わりの中にはいて、スクールで杭打たれた基礎はなくなっていないと見せられたことが嬉しかったです。すぐ気落ちして主に文句を言ってしまうがちな私ですが、彼らにまかれた種が、土地が乾いている間は芽を出さなくても、時が来て潤されると一斉に芽吹き一面の花畑になるから、信じて希望をもって祈り続けるようにと、主からの大きな励ましをいただきました。

今年も、私たちを愛し、いつも確かに導いてくださる主に信頼して、日々恵みを数えながら歩んでいきましょう。

**わたしの目には、あなたは高価で尊い。**

**わたしはあなたを愛している。（イザヤ43：4a）**

# 1月のカレンダー

日	月	火	水
			1日
5日	6日	7日	8日
	冬休み (1/7(火)まで) →		授業・昼食開始 合同礼拝 (1限)
12日	13日 成人の日	14日	15日
			学部別礼拝 (1限) 特別授業 (中高 HOPE) 保護者、スタッフ向けバイブルタイム
19日	20日	21日	22日
			保護者、スタッフ向けバイブルタイム
26日	27日	28日	29日
	Hさん誕生日		保護者、スタッフ向けバイブルタイム

- ・15日(水)、中高HOPE生は、特別授業を行います。講師は、精神障害者グループホームホサナホーム事務局長玉井 チャーリー 千尋氏です。保護者の皆さまの参加も自由です。どうぞ都合のつく方をご参加ください。また、有意義な学びのときとなるよう、お祈りください。
- ・16(木) 午後、新年度に向けて、スタッフの教科会議を行います。3限まで授業を行い、昼食、掃除、帰りの会を行って、全校12時40分下校となります。ご確認をお願いします。
- ・30日(木)～31日(金)、小5以上は、宿泊トリートを行います。詳細は、後日ご連絡します。また、小1～4は、特別活動を行い、14時30分下校となります。
- ・合同礼拝、学部別礼拝の保護者の方の参加は自由です。ぜひお子様と一緒にスクールの礼拝に参加しましょう。
- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムを行っています。子ども達が日々恵みをいただいている聖書の言葉をご一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。9日(木)、23日(木)の13:30～、15日(水)、22(水)、29(水)の14:00～、場所は、のあISのHOPEの部屋です。鈴木まで問い合わせください。

## <スクールアルバム (20周年記念特別編) >

20周年記念感謝会では小学部の劇(ノアの箱舟)、光衣先生の証しなど、感謝一杯の会でした

ヤダICSのお友達とすぐに仲良くなってカードゲーム



韓国姉妹校ヤダICSの25名と全員集合!

ヤダICS皆さんにゆかた体験してもらいました

MDCの皆さんがタコ焼き、焼きそばを振舞ってくださいました!



木	金	土
2日	3日	4日
	A先生誕生日	S先生誕生日
9日	10日	11日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム	委員会活動 (6限)	
16日	17日	18日
教科会議 (3限授業、12時40分下校)	クラブ活動	
23日	24日	25日
保護者、スタッフ向けバイブルタイム	クラブ活動	
30日	31日	
← リトリート (小5以上)	特別活動 (小1~4)	→



### 子育て note

### 日常生活の中の不安や危惧との戦い

私は性格的に物忘れが多いので、よく探し物をすることがあります。探し物をする中でも、食卓に着いてからチーズや醤油などのちょっとした食材追加の品を冷蔵庫に探しに行く時、見つからずに帰ってくる場合があります。そこで次に妻が探しに行くと、ちゃんと見つけて戻ってきます。そんな風を探しているものが見つからなかった時、私の心には、実はもしかしたら見つからないのではないかと、という一抹の不安を抱えて探しものをしていることに気がきました。そんな気持ちを心の中に抱えながら探し物をする、実際、物はそこにあっても見えないことがよくあります。探し物をする前に、もしかしたら無いかもしれないというような不安感を、私はまず一掃しなければならないのです。

生きてゆく、また子育てをしていく、ということの中には、さまざまな不安や、また一抹の危惧といったものもあるのではないのでしょうか。いやむしろ、それらは私たちの生活や子育てには必然的なものです。でも私たちは、親として、それらの不安や危惧することに囚われないように、気を付けていきたいと思います。親がそれらの不安や危惧に囚われて行動してしまうと、子どもたちに良いものは流れていかないからです。まず親が子どもの将来に対して、また自分たちの未来に関して不安から解放され、平安の中に生きることです。私たちの生活の中から、思い煩いや不安を取り除きましょう。聖書にはこのようにあります。

**"何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもってささげる祈りと願いによって、あなたがたの願い事を神に知っていただきなさい。" ピリピ人への手紙 4章 6節**

なによりも、思い煩う以上に、お互いの存在を感謝し、日常生活の中に感謝を見つけ、感謝の中に生き、喜びを分かち合っていくことです。そのようにした上で、私たちの生活の一部始終をケアし、守ってくださる神様に目を向けて、信頼してみてください。その時にすべての状況は改善して行きます。

校長 月井博

